

千葉中央での思い出

久保木 若菜

私が千葉中央に入ったのは友達のあみが誘ってくれたからです。

もう入部して2年半が経ちます。休みが少なく時には周りの人が羨ましく思った時もあったけど、いつも1人で家にいるよりは練習が厳しくてもバレーボールをやっている方が楽しかったです。時にはつらい時もあったけど、仲間やお母さんお父さんが支えてくれたからこそここまでバレーを続ける事ができました。

2年半の間、監督やコーチにきびしく良い指導を受ける事が出来ました。

監督からは技術だけではなく礼儀などのたくさんの事を教えていただきました。

「当たり前の事を当たり前に行えば当たり前の事が当たり前に行える」私は、この言葉が大好きです。コーチには、試合前に心を落ち着かせてくれたり、試合に必要な物を買ってくれたり、他にもあいさつなどの事を教えていただきました。OGのことみちゃんにも色々な事を教えていただきました。

最後の大会スポ少では、残念な結果で終わってしまいました。私が中央に入って学んだ事、それは。「努力は決して裏切らない」「練習はウソをつかない」という事です。この言葉を信じて中学でも頑張ります。

最後に監督、コーチ、お母さんお父さん、チームのみんな今まで本当にありがとうございました。中学校へ行っても千葉中央の卒部生としてはずかしくないように頑張ります。今まで本当にありがとうございました。